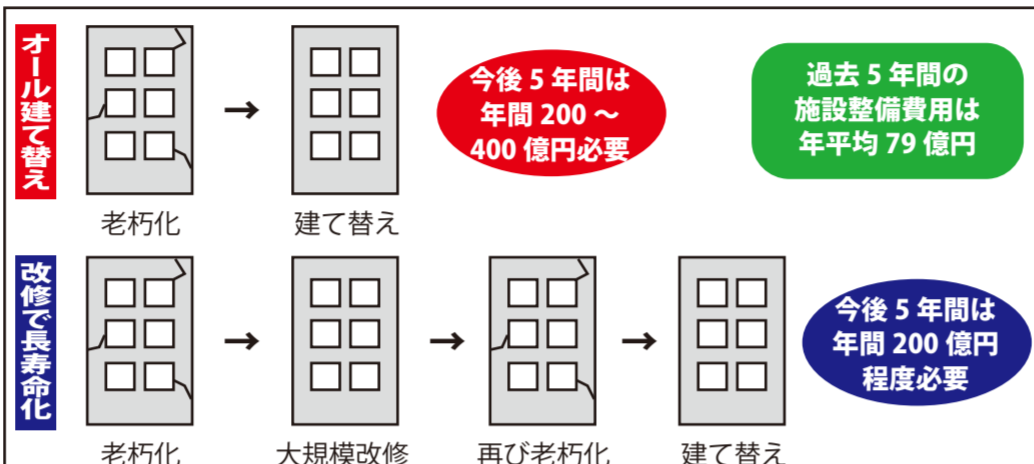


公共施設の 2 割カットが必要？～「公共施設等総合管理計画」を読む (2)

第 151 号では、全国の公共施設等の老朽化が課題になっていること、総務省が各自治体に要請し「公共施設等総合管理計画」の策定が進められていること、例えば和歌山市では 650 を超える公共施設と、面積に換算して約 578 万平方メートルに及ぶ市道などのインフラを有していることをご紹介します。今回は公共施設の更新について取り上げます。



和歌山市の公共施設を老朽化とともにすべて建て替えた場合と、大規模改修を施して長寿命化を図った場合に、今後 5 年間に必要になる費用の差。長寿命化を図ると費用は大幅に安くなるが、それでも過去 5 年間の投資金額を上回る結果に。

ただし注意が必要なのは、人口減少や少子高齢化によって予測される和歌山市の税収減や、社会保障などに当てられる補助費の急増は、この試算には反映されていません。例えば和歌山市の介護保険費用を含めた社会保障に必要となる扶助費は過去 10 年間で 1.6 倍の年約 800 億円に膨らんでおり、施設整備などに使える経費が今後減少する可能性があります。したがって、この 2 割削減というの

は絶対的なものではなく、目安としたほうがよさそうです。2 割カットと財源確保を目指すには、施設整備に使える経費の先行きは不透明な点が残りますが、まずは目安として算出されている「公共施設の延床面積 2 割削減」を指すにはどうすればよいか。「削減」ですから減らせばいいわけですが、単に廃止というだけでは公共サービスの低下を招きかねません。

和歌山市公共施設マネジメント基本方針
全文は和歌山市ウェブサイトに掲載されています。
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1010744.html>
和歌山市ウェブサイトのサイト内検索に「1010744」と入力すると出てきます。
(今回は第 155 号に掲載予定)

更新費用が出せない!!
公共施設の一斉老朽化が目の前に迫っているなか、対策に必要な費用はどのようになるのでしょうか。事実上の全国統一基準となっている「公共施設更新費用試算ソフト」で設定されている「平方メートルあたり単価」をベースに、和歌山市内の公共施設について「築 41 年以上の建物」を今後 5 年間ですべて建て替え、今後 40 年が到達すると建て替える」という条件で費用を算出したところ、今後 5 年は年間 200～400 億円の支出が必要になるという試算が出たそうです。これは市単独としては、これまで公共施設を縮小するに比べて費用が大幅に増えるのか試算をおこなったところ、総延床面積に換算して約 2 割の公共施設を削減すれば財政的には持続可能な水準になる、との結果が出たとしています。これは「公共施設は築 30 年で大改修、築 65 年までで長寿命化を図る」という条件で「公共施設の延床面積を縮減」した結果です。

和歌山市における公共施設面積「2 割カット」の要件

- ① 投資できる費用は過去 5 年間実績に基づき年平均約 79 億円と仮定
- ② 既存施設は築 30 年で大規模改修し、築 65 年まで延命する
- ③ 保有する公共施設の延床面積を約 2 割を削減する
…以上で維持管理経費を削減
- ④ 削減した約 2 割のスペースは民間に売却する
(売却益の算出は過去 5 年間の実績による)

【課題】
◆人口減少・少子高齢化にともなって、今後も社会保障に必要な扶助費の増加が見込まれる。施設整備に必要な経費の捻出が可能か
◆公共サービスの低下を招かないような公共施設の縮減をどのように図るか
◆公共施設における収入増をどう図るか



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- ミニ展示「ジュニア考古学研究応募作品展」
夏休みの自由研究や総合学習の作品展です。
日時 1 月 9 日 (月・祝) までの 9:00～16:30
場所 県立紀伊風土記の丘
入場料 紀伊風土記の丘入館料のみで入場できます (一般 190 円、大学生 90 円、高校生以下・65 歳以上・障がい者・外国人留学生は無料)。
問い合わせ 県立紀伊風土記の丘 (073-471-6123)
- ストレッチポール de 寝たま姿勢美人
日常生活の癖によって歪んでしまったり、凝り固まった身体の姿勢改善効果が期待できます。
日程 1 月 15 日 (日) 10:00～11:15
場所 和歌山ビッグ愛 6F スポシムルーム
講師 横山安紀子さん (健康運動実践指導者)
参加費 1,000 円
定員 15 名 (先着順)
問い合わせ 和歌山ビッグ愛管理事務所 (073-435-5200)
- 講演会「こころの音が言葉になる」
小児がん等長期療養児とご家族、教育・医療・保健・福祉関係者を対象とした講演会。
日時 1 月 14 日 (土) 13:30～15:30
場所 勤労福祉会館プラザホール 2 階多目的室
講師 副島賢和さん (昭和大学大学院保健医療学研究所准教授)
参加費 無料
定員 50 名 (1 月 6 日中に申込)
問い合わせ 和歌山県難病・子ども保健相談支援センター (073-445-0520 FAX 073-445-0603)
- 社会保険労務士に学ぶビジネスセミナー講習会
雇用主の目線を知ることが就職活動に有利になる。
日程 1 月 19 日 (木) 13:10～15:00
場所 就労移行支援事業所マイパレット (和歌山市内原 726-13)
講師 田中恵子さん (社会保険労務士)
参加費 無料
定員 5 名 (求職中の方に限る)
問い合わせ・申し込み 一般社団法人和乃絆 (073-412-8010)

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」URL
PC 版 <http://eventboard.shiminjuku.jp/>
携帯電話版 <http://eventboard.shiminjuku.jp/m/>

SDGs 国連・持続可能な開発目標を知ろう ①

今回からしばらくの間「国連・持続可能な開発目標」についてご紹介してまいります。この目標は英訳「Sustainable Development Goals」の略で通称「SDGs (エス・ディ・ジーズ)」と言われますので、文中も SDGs と表記します。

さて、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられ、2016 年 1 月に正式に発効した SDGs。2030 年に向けて世界の発展と開発に関する考えなどが 17 分野 169 項目にまとめられています。

SDGs は、2015 年まで 15 年間にわたって進められてきた「ミレニアム開発目標 (MDGs:エム・ディ・ジーズ)」の成果を元に策定され、「各国の力を結集し、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰も置き去りにしないことを確保するための取り組み」を進めることを謳っています。そのためには経済成長も必要ですし、雇用機会の拡充も必要です。教育や健康増進、

それに社会的保護の機会など幅広い社会的ニーズが充足される必要もあります。一方で、行き過ぎた開発による環境破壊の抑制、昨今叫ばれている気候変動への対応も求められます。

MDGs は、**人類の発展と、環境・気候といった地球環境への配慮を両立させることを求めている**など、国連自らが「野心的な目標」と表現するくらい、相当踏み込んだ内容となっています。

SDGs では「世代」も意識されており、現代のニーズを充足するだけでなく、将来の世代のニーズを充足させる機会を保障することを求めています。人間と地球の両方にとって「包摂的」「持続可能」「強靱な未来に向けた取り組み」であるとも意義付けられています。

さらに、**安定した開発のためには「経済成長」「社会的包摂」「環境保護」の 3 つの要素の調和が必須**であるとしています。つまり、経済だけを追い求めても、社会保障だけを追い求めても、環境保護だけ追い求めてもだめで、各々を上手なバランスを持って追求する必要があるということを訴えています。

3 つの要素の調和については、具体的には「あらゆる形態の貧困に終止符を打ち」ことが持続可能な開発のための必須事項として、「**不平等を削減し、基本的な生活水準を向上させること**」、「**公平な社会開発と社会的包摂を促し**」、「**天然資源と生態系の持続可能な管理を促進する**などで**持続可能・包摂的・公平な経済成長を推進する**」と述べています。

こうした世界共通の開発目標である「SDGs」に掲げられている 17 分野 169 項目、そして SDGs に必要な「5 つの P」などを順次ご紹介してまいります。

* 社会的包摂:「ソーシャル・インクルージョン」ともいい、生活困難な人々等を排除するのではなく社会参加の機会を開いたり、社会の構成員として包み込むこと、などと解釈されます。

【参考ウェブサイト】
国連広報センター http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/